

公立大学法人 山陽小野田市立
山口東京理科大学

平成28年度 財務レポート



理事長あいさつ



公立大学法人化1年目となる平成28年度は、まさに変革の1年でした。教育・研究・社会貢献という大学の機能を最大限に高めるために、本学が進むべき道「TUSY Way」を掲げ、安定した大学運営基盤の構築に向けてスタートいたしました。組織運営においては、「一人の百歩より百人の一步」の言葉にもあるように、皆が一団となって前に進んでいくことが大きな推進力となります。教職員はもちろんのこと、本学で学びを修める活気ある学生、平素よりお力添えをいただいております御父母、地域のみなさまとともに、親しみある大学を築き上げていけるよう尽力いたします。

今後も、山口県有数の産業都市「山陽小野田市」における落ち着いた教育環境のもと、学校法人東京理科大学との姉妹校関係を維持強化しつつ、理工系の基礎的知識と専門的な学術を教育・研究するとともに、地域に根差し、地域社会の発展に寄与する「地域のキーパーソン」の育成に貢献いたします。

本冊子は、平成28年度に実施した本法人の取り組み及び財務状況を記載しております。本法人の活動実績をご理解いただくための一助となれば幸いです。

平成29年7月

公立大学法人山陽小野田市立

山口東京理科大学

理事長 池北 雅彦

目次

理事長あいさつ	1
決算総括	2
貸借対照表	3
損益計算書	4
キャッシュ・フロー計算書	5
行政サービス実施コスト計算書	6
決算報告書	7
平成28年度の主な取り組み	
教育に関する取り組み	8
研究に関する取り組み	9
地域貢献に関する取り組み	10

決算総括

平成 28 年度決算については、法人全体として約 1 億 3,500 万円の当期総利益を計上しました。収入については、学生等納付金収入の増加に加え、受託研究費等の外部資金獲得額の増加等により、収入合計で当初予算比 108,651 千円の増加となりました。支出については、大学運営管理費の削減に努めることで費用を抑制しました。教員の欠員補充による人件費の増加等の支出増加要因もありましたが、支出合計で当初予算比 14,332 千円の減少となりました。

今後も、国内外の大学や研究施設との盛んな学術交流等により、教育研究のさらなる質の向上に向けた取り組みを行います。

財務諸表相関図

貸借対照表 (P.3)

資産	固定資産	固定負債	負債
		流動負債	
	流動資産	資本金	純資産
		資本剰余金	
目的積立金			
現預金	当期未処分利益 (当期総利益)		

利益処分に関する書類 (P.4)

当期未処分利益 (当期総利益)
利益処分量 目的積立金 (積立額)

キャッシュ・フロー計算書 (P.5)

業務活動	(支出)	業務活動 (収入)
財務活動	(支出)	
投資活動	(支出)	
資金期末残高 (一部)		財務活動 (収入)
		投資活動 (収入)

損益計算書 (P.4)

経常費用	業務費	運営費交付金収益	経常収益
		自己収入等	
	一般管理費	臨時損失	臨時利益
当期総利益	目的積立金取崩額		

行政サービス実施コスト計算書 (P.6)

損益計算上の費用	経常費用	(控除) 自己収入等
	臨時損失	(差引) 業務費用
		機会費用

損益外減価償却相当額
引当外退職給付増加見積額 等

行政サービス
実施コスト

貸借対照表

貸借対照表は、決算日時点における資産・負債・純資産を表示した、財政状態を明らかにするための報告書です。貸借対照表の負債・純資産はどのようにして資本を調達したかを表し、資産は調達した資本をどのように使用しているのかを表します。

(単位:千円)

区分		平成28年度 開始時	平成28年度 期末時	区分		平成28年度 開始時	平成28年度 期末時
資産の部	土地	756,000	756,000	負債の部	資産見返運営費交付金等	0	227,397
	建物	3,029,842	3,108,675		資産見返寄附金	528,686	489,464
	減価償却累計額	0	▲ 177,167		ソフトウェア仮勘定見返運営費交付金等	0	13,014
	構築物	12,536	20,909		長期リース債務	0	9,810
	減価償却累計額	0	▲ 1,213		固定負債合計 ④	528,686	739,685
	車両運搬具	0	4,019		運営費交付金債務	0	50
	減価償却累計額	0	▲ 223		授業料債務	118,785	0
	工具器具備品	279,720	330,928		寄附金債務	6,595	7,570
	減価償却累計額	0	▲ 47,911		前受受託研究費等	1,024	0
	図書	236,430	238,979		未払金	0	101,871
	有形固定資産合計	4,314,528	4,232,996		未払消費税等	0	2,495
	ソフトウェア	14,715	105,415		リース債務	14,715	2,452
	ソフトウェア仮勘定	0	13,014		前受金	85,551	273
	無形固定資産合計	14,715	118,429		預り科学研究費補助金	1,528	1,027
	長期前払費用		3,068		預り金	3,324	9,759
投資その他の資産合計	0	3,068	流動負債合計 ⑤	231,522	125,497		
固定資産合計 ①	4,329,243	4,354,493	負債合計 ⑥(④+⑤)	760,208	865,182		
純資産の部	現金及び預金	216,807	226,889	資本金(地方公共団体出資金)	3,785,842	3,785,842	
	その他未収入金	0	10,231	資本剰余金(損益外減価償却累計額(▲))	0	▲ 176,549	
	前払費用	0	17,990	利益剰余金(当期末処分利益)	0	135,128	
	流動資産合計 ②	216,807	255,110	純資産合計 ⑦	3,785,842	3,744,421	
資産合計 ③(①+②)	4,546,050	4,609,603	負債・純資産合計 ⑧(⑥+⑦)	4,546,050	4,609,603		

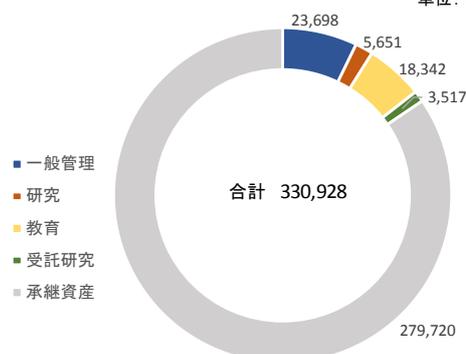
(注)

・開始時には、山陽小野田市から現物出資された土地756,000千円、建物3,029,842千円及び学校法人東京理科大学から引き継いだ構築物12,536千円、工具器具備品279,720千円、図書236,430千円を含めて記載しております。

・減価償却の会計処理方法は、定額法を採用しております。

工具器具備品目的別内訳

単位:千円



平成28年度に取得した工具器具備品の目的別の内訳です。取得価額を表し、減価償却前の金額を記載しています。

損益計算書

(単位:千円)

区分		平成28年度
経常費用	教育経費	108,303
	研究経費	81,419
	教育研究支援経費	19,344
	受託研究費	58,606
	人件費	621,225
	業務費合計	888,897
	一般管理費	315,589
経常費用合計①		1,204,486
経常収益	運営費交付金収益	544,157
	授業料収益等	640,637
	受託研究等収益	60,130
	補助金等収益	14,679
	寄附金収益	6,814
	資産見返負債戻入	49,696
	雑益	23,501
	経常収益合計②	1,339,614
経常利益③(②-①)		135,128
臨時利益④		80,287
臨時損失⑤		80,287
当期純利益⑥(③+④-⑤)		135,128
当期総利益⑦		135,128

損益計算書は、ある一定期間の業務活動の成果を表した報告書です。経営の理念に基づいてサービスを社会に提供し、満足していただいた活動の結果を利益(または損失)として計算したものです。

人件費内訳

役員人件費 : 12,506千円
 教員人件費 : 432,781千円
 職員人件費 : 175,938千円

授業料収益等内訳

授業料収益 : 466,152千円
 入学金収益 : 142,797千円
 検定料収益 : 31,171千円
 手数料収益 : 517千円

利益処分に関する書類 (要約)

(単位:千円)

当期末処分利益	
当期総利益	135,128



利益処分類	
積立金	21,053
教育研究の質の向上及び施設準備積立金	114,075

地方独立行政法人法第40条第3項により、設立団体(山陽小野田市)の長の承認を受ける必要がある金額です。経営努力によって得られた利益として、次年度以降に利用可能な積立金となります。

キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

区分		平成28年度
支出	原材料、商品又はサービスの購入による支出	▲ 205,569
	人件費支出	▲ 635,982
	その他の業務支出	▲ 256,621
収入	運営費交付金収入	771,023
	授業料等収入	452,877
	受託研究費等収入	59,106
	補助金等収入	14,679
	寄附金収入	8,720
	その他の収入	14,057
	預り金の純増減額	5,933
業務活動によるキャッシュ・フロー合計 ①		228,223
支出	固定資産の取得による支出	▲ 215,692
収入	利息および配当金の受取額	3
投資活動によるキャッシュ・フロー合計 ②		▲ 215,689
支出	ファイナンス・リース債務の返済による支出	▲ 2,452
財務活動によるキャッシュ・フロー ③		▲ 2,452
資金増加額 ④(①+②+③)		10,082
資金期首残高 ⑤		216,807
資金期末残高 ⑥(④+⑤)		226,889

キャッシュ・フロー計算書は、一会計期間の収入（キャッシュ・イン）と支出（キャッシュ・アウト）を捉え、キャッシュの流れを計算して表示する報告書です。

資金運用について

当法人は、資金運用については地方独立行政法人法第43条の規定に基づき、預金、国債、地方債及び政府保証債等に限定しております。資金運用の当たっては、現状では預金により運用しております。

ファイナンス・リース

ソフトウェア 14,715千円
(6年契約、年間2,452千円の支出)

行政サービス実施コスト計算書

行政サービス実施コスト計算書は、本法人が業務を運営するにあたって、市民のみなさまに負担いただいているコストを表す報告書です。業務費用に加えて、機会費用等（山陽小野田市の資産等を利用したことによる市民のみなさまにとっての負担額など）を加算したもから、業務運営により得られた自己収入等を控除して算出しています。

(単位: 千円)

区分		平成28年度
業務費用	業務費	888,897
	一般管理費	315,589
	臨時損失	80,287
	損益計算上の費用合計①	1,284,773
	授業料等収益	▲ 640,637
	受託研究等収益	▲ 60,130
	寄附金収益	▲ 6,814
	資産見返運営費交付金等戻入	▲ 315
	資産見返寄附金戻入	▲ 44,323
	雑益・臨時利益等	▲ 90,955
	(控除)自己収入等合計②	▲ 843,174
	業務費用合計③(①+②)	441,599
損益外減価償却等相当額④	176,549	
引当外賞与増加見積額⑤	5,832	
引当外退職給付増加見積額⑥	14,979	
機会費用	国又は地方公共団体財産の無償又は減額された使用料による賃借取引の機会費用	24,771
	地方公共団体出資の機会費用	2,403
	機会費用合計⑦	27,174
行政サービス実施コスト(③+④+⑤+⑥+⑦)		666,133

行政サービス実施コスト計算書における機会費用の計上方法

(1) 国又は地方公共団体財産の無償又は減額された使用料による賃借取引の機会費用の計上方法

山陽小野田市行政財産使用料徴収条例及び、宇部市行政財産使用料徴収条例に基づき計算しております。

(2) 地方公共団体出資の機会費用の計上方法

10年利付国債の平成28年3月末利回りを参考に0.065%で計算しております。

費用	機会費用 損益外のコスト
自己収入	行政サービス実施コスト

(注)

1 引当外退職給付増加見積額

引当外退職給付増加見積額には、山陽小野田市からの派遣職員に係るものが1,660千円含まれております。

2 山陽小野田市からの派遣職員の人件費の取扱い

山陽小野田市からの派遣職員の人件費(15,304千円)は、山陽小野田市から直接支給され、業務費用には含まれていないことから、行政サービス実施コスト計算書には計上されておられません。

3 機会費用の内訳

(1) 国又は地方公共団体財産の無償又は減額された使用料による賃借取引の機会費用

設立団体(山陽小野田市)に係る額	15,971千円
設立団体の他(宇部市)に係る額	8,800千円

(2) 地方公共団体出資の機会費用

設立団体(山陽小野田市)に係る額	2,403千円
------------------	---------

決算報告書

第1期(平成28年度)

(単位:千円)

区分	予算額	決算額	差額 (決算-予算)	
収入	運営費交付金収入	850,000	771,023	▲ 78,977
	補助金収入	5,333	18,246	12,913
	学生等納付金収入	563,957	657,730	93,773
	財務収入	80	3	▲ 77
	雑収入	9,300	20,204	10,904
	受託研究費等収入	5,330	60,130	54,800
	寄附金収入	0	15,315	15,315
	目的積立金取崩額	0	0	0
収入合計①	1,434,000	1,542,651	108,651	
支出	教育経費	123,758	122,978	▲ 780
	研究経費	45,608	52,972	7,364
	教育研究支援経費	38,014	34,804	▲ 3,210
	受託研究費等	5,330	60,130	54,800
	寄附金	0	7,745	7,745
	人件費	596,820	608,751	11,931
	一般管理費	594,470	532,288	▲ 62,182
	予備費	30,000	0	▲ 30,000
支出合計②	1,434,000	1,419,668	▲ 14,332	
収入-支出 (①-②)	0	122,983	122,983	

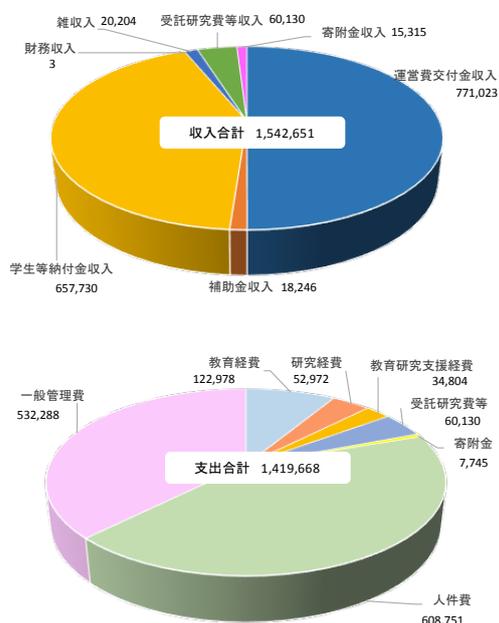
入学金収入、授業料収入の増加

外部資金獲得額の増加

外部資金獲得額の増加に伴い、
研究費の支出も増加

教員の欠員補充により増加
(教授、准教授及び講師 各1名)

大学運営管理費を節減



本学の収入には、①市等からの収入（運営費交付金など）、②自己収入（学生等納付金、補助金、受託研究費、寄附金など）、③その他の収入（財務収入など）があります。

中でも、自己収入は大学の経営努力によって大きく変動します。本学では、外部資金獲得に向けた取り組み(P.9)などを通して、さらなる自己収入の増加を目指しています。

平成28年度の主な取り組み

教育に関する取り組み

地域に貢献する人材を育成

地域を知り、地域と連携した実践科目として、「地域産業論」、「地域社会学」、「ボランティア活動」、「リーダーシップ論」、「卒業研究（地域課題編）」を開講。地域社会の発展に寄与する人材を育成しています。

また、平成 29 年度から、市内企業が抱えている技術的課題を提示いただき、学生がグループで把握・分析し、対策創出・提案を行うアクティブ・ラーニング科目「地域技術学」を開講します。

奨学金制度の充実化

学業成績が良好で、経済的理由により授業料の納付が困難である学生を対象にした授業料免除及び授業料徴収猶予制度と、市内出身者・本学学部卒業者に対する大学院入学金減免制度及び博士後期課程授業料減免制度を整備しました。また、熊本地震にて災害救助法が適用された地域で被災した学生に対し、前期授業料の半額を免除しました。さらに、学業において特に優秀な成績を収めた者に対し学業を奨励することを目的とする特待生奨学金制度を導入し、平成 29 年度から実施します。

薬学部の設置申請

平成 30 年 4 月に現在の校地内に薬学部を開設するために、平成 29 年 3 月に文部科学省に設置認可の申請を行いました。（薬学部は平成 30 年 4 月に新設する予定であり、変更となる場合があります。）



建設中の校舎

魅力ある大学づくりに向けて



学生談話室「パルテール」

① 志願者情報

平成 29 年度の入学者選抜試験において、入学定員 200 人に対して 1,790 人の志願者がありました。

② 学生満足度

平成 28 年度山口東京理科大学大学生生活意識調査での設問「全体的にみて本学の学生生活に満足していますか」に対して、78.6%の学生より「とても満足している」、「まあ満足している」の回答をいただきました。

③ 就職内定率

平成 28 年度の学部卒業者、修士課程修了者ともに、就職内定率 100% を達成することができました。

外部資金獲得に向けた取り組み

外部資金の獲得を目指し、科学技術振興機構元科学技術コーディネーターを招聘し「科研費申請・獲得の方法とコツ」をテーマに、研修会を開催しました。また、科研費の審査委員を経験した本学名誉教授による申請書作成アドバイザー制度を取り入れ、競争的研究資金の採択率を高めるための措置を講じました。

また、競争的研究資金である科学研究費補助金を申請した教員には、教育研究費を加算して配分するなどの取り組みを行っています。

実績として、平成 28 年度に新たに獲得した外部資金額は 96,585 千円となり、前年度に対して約 34%の増加となりました。

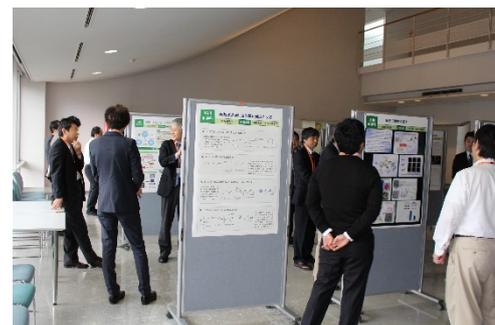


研究費の不正利用防止

研究行動憲章、研究活動における不正防止ガイドライン、研究活動コンプライアンス委員会規程、公的研究費における予算執行要項等を整備し、研究活動における不正防止に向けた教員対象説明会を開催し、教員全員が公的研究費等の使用に関する誓約書を提出しました。また、「研究倫理教育に関する e-learning 講座」を大学院生全員が受講しました。

技術シーズ集の活用

大学の技術シーズと企業の技術ニーズのマッチングを図り、製品化の可能性を支援するために、本学の研究者の情報を集約した「技術シーズ集」を刊行しました。商工会議所、山口県産業技術センター、やまぐち産業振興財団、科学技術振興機構等に配付するとともに、本学地域連携センターホームページに掲載するとともに、「技術相談会」と「研究室公開」を開催しました。



技術相談会

産学官の連携

平成 28 年 7 月、山陽小野田市産学官連携推進協議会が開催されました。産学官の連携によって大学からの技術移転を促進するとともに、新商品の開発や新しい産業・技術を創出できるような環境の形成を目指します。



山陽小野田市産学官連携推進協議会

かがく博覧会

地域貢献活動として、おのだサンパークを会場に山陽小野田市・山口東京理科大学連携協議会による「かがく博覧会」を開催し、延べ 3,250 人にご参加いただきました。

「かがく博覧会」では小中学生の科学作品展に対する表彰があり、本年度から学長賞の授与を行いました。



かがく博覧会での体験コーナー

ほんものの科学体験講座

山陽小野田市内の小中学校を対象にした実験体験「ほんものの科学体験講座」を 11 校で 15 回実施し、646 人にご参加いただきました。

有帆小学校



埴生小学校



本山中学校



竜王中学校



